

道標ない旅269

“269”とは南郷中の全校生徒数です

平成31年1月22日(地域版第11号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 2019年が始まりました。 ◆◆

いのしし年であるだけでなく、元号も変わる節目の年になりました。本年も南郷中学校の教育活動に対し、ご理解ご支援何卒お願い申し上げます。地域の方々と一緒になって、2019年を良い年にしていきたいと願っております。よろしくお願い申し上げます。

◆◆ 部活動の結果 ◆◆

- ・バドミントン部
 - 1/6 横須賀ブロック中学校新人スポーツ大会 (女子ダブルスの部) の結果
 - ・ ペア
 - ・ ペア
- 共にベスト8 県大会出場決定



◆◆ 1月8日(火)、事故の報告なく、南郷中は新年を迎えることが出来ました。 ◆◆

何よりも良かったなあとしみじみ感じながら、しんと寒さが伝わってくる体育館で、私が生徒諸君に伝えたことを紹介させていただきます。

「冬の朝の寒さ、寒いよね。でもその寒さを知っている人だけが、春の暖かさや夏の暑さを感じることが出来るんだよ。同じように、幸せだけを求めている人は、何が幸せなのかも分からないんだよ。幸せを感じられる人は、その対極にある不幸を経験した人だけなんだ。つらい思いや不幸を乗り越えてこそ幸せを感じることが出来るんだよ。……時間は短くするので、先生の話聞いてください。

昨年最後の集会でシンギュラリティの話をしたとき、言葉を知っている人は一人だけだったよね。少し将来のことを考えてみましょう。今13歳から15歳の皆さんは、高校大学と過ごす7年の年月を経ていますから、二十歳は超えていることになります。

東京オリンピック2020 大阪万博2025 も終わったころ、皆さんにとって、生きていく上で考えなくてはならない就職も経験している頃でしょう。結婚や、早い人ならもう子どもも出来て育てなくてはならない状況もすぐにやってくることでしょう。

その頃の世の中、そして皆さんが30代として活躍しているはずの20年後、AIと私たち人間はどんな付き合い方をしているのでしょうか。

近世に、錬金術……など魔法のように感じられていたことを、現代は謎を解き明かして、皆さんに教育を通してなるべく正確に分かるように伝えてきました。いわば「脱魔法時代」でした。私を含め大人が教えてあげることが出来た時代です。

でも再び世界は魔術化し始めました。最先端に行く人でさえ、少し分野の違うことだとよく分からない時代がやってきています。何でそういう結果になるのか説明できないことだらけの、魔法のような世の中の再来です。これからを予測してしゃべれる人はわずかになってしまいます。

仕組みは分からないけど買い物が出来る無人のスーパーに変わるような時代が目前です。AIの進化は、今とはびっくりするぐらい違う社会を生み出すことでしょう。

出来れば賢い人でいたいのなら、自分で将来に目を向けてみる必要があります。就職まで7年くらいしか時間がない中、高校・大学とぼーっとしていいのでしょうか。君たちに的確なアドバイスをしてあげられる大人がいないのです。だからこそ自分で目を向けてみてはどうでしょうか。

先生もこの冬「これからの世界をつくる仲間たちへ」という本を読んで刺激を受けました。自分で読んでみたらどうでしょうか。先生は、是非皆さんに読んでほしいなと思っています。

※「これからの世界をつくる仲間たちへ」落合陽一：すらすら読めるほど簡単ではないですが、中高生なら十分読みこなせます。これからを担う地域の方々にも読んでいただきたい一冊です。

◆◆ 平成30年あいさつ標語の受賞作品が決まりました ◆◆

「あいさつと 笑顔は皆が できること」
優秀賞 3年C組 さん

この標語も今までの作品と一緒に登下校の南郷中学校生を見守ってくれます。みんなが出来ることとして意識が高まることを期待します。

ちなみに10日・17日はあいさつ励行運動の日でした。ぬいぐるみも登場し、あいさつ励行運動に一役買ってくれました。



◆◆ 平成30年度税の作文コンクールも活躍!! ◆◆

見事「教育長賞」を受賞したのは、3年B組の さん。
作品のタイトルは「ふるさと納税」と思いやり

はやりの「ふるさと納税」ですが、その実、今一步分からないところもあるので、思いやりとどう繋がっていくのか、是非読んでみたい作品です。表彰式は1月11日（金）本校校長室にて、教育長様や納税課長様にご来校なさり、行われました。



◆◆ 2月1日に「171災害伝言ダイヤル利用訓練」を実施します。 ◆◆

11月の訓練では、参加者（経験された方）はまだまだ少ない状況でしたが、じんわりとでも広がっていくことを期待して実施します。

大地震に遭遇したとき、一番心配なのは家族などの安否情報であり、生きながらえた際には、避難所で配られる物資の配給情報も、知っておきたい重要な情報になります。それらを得る重要な手がかりが、「171災害伝言ダイヤル」です。その利用方法を身につけておくことは災害対策の一つとして大変有効です。

今回の訓練は、安否が分かったあと、171を利用して、避難所の配給情報を得る訓練です。

実際には避難所ではなく、倒壊をまぬがれて自宅で避難生活を送る方が多いと思います。そのとき、南郷中や長柄小の避難所に向く前に、給水や食糧配給の情報を得たいと思いませんか？

それが出来るように地域全体で訓練していくのが、この訓練の目的です。全国で葉山町だけが独自に始めた新しい171活用アイデアの訓練なのです。詳しくは別刷りの回覧をご覧ください。

尚、別刷りの回覧がほしい方は、大変申し訳ありませんが、取り急ぎは、コピーしてご対応ください。コピー出来ないご家庭は、学校へご連絡ください。

(補足) 訓練当日、南郷中学校の保護者の方々に対しては、メールにて訓練実施日であることを周知いたします。保護者の方々には、出来れば地域の方々にも訓練日であることを、町中へ出会ったり、ご近所で顔を合わせたら広めて頂けるよう依頼する予定です。訓練に参加された方は、参加してみての感想やご意見などを南郷中・長柄小に届けて頂くと、今後の改善に活かせるかと考えています。皆様のご参加を期待します。

……これから求められる学力とは……



左は、校長室にある「ガリレオ温度計」というものです。今現在4つのガラス容器が上に浮いていて、1つのガラス容器が下に沈んでいます。気温が変わると、容器の中の液体（一見、透明な水に見えますが、温度による体積変化が大きいアルコールを使っています。）の液温も変わり、ガラス容器が浮かんだり沈んだりするものです。

では、上から数えて4番目の真ん中あたりで浮いているガラス容器は、気温が上がると沈むのでしょうか？それとも気温が下がると沈むのでしょうか？

現象を覚えてしまって、暗記力で答える時代は終わりです。これから求められる学力とは、なぜそうなるのか理論的に組み立てて答えられる力です。

考えたい人へのヒントは、

- ①アルコール温度計を思い出すと温度が上がるとアルコールは膨張すること。
 - ②つまり透明な液体は温度が上がると膨張すること。
 - ③浮いているガラス容器はアルコールを押しつけて浮力を得ていること。
 - ④ギリギリ浮いているガラス容器は、浮力が減ると沈んでしまうこと。
- どうです？自信を持って答えられますか？